

広報
265 号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東 3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



第 53 回 通 常 総 会

文京支部 大柴和男

〈 主 な 内 容 〉

時の視点		[総会開催]	山手支部 庶務 徳永裕司	13	
東京協組 第 53 回通常総会開催	2	//	城北支部長 黒田義孝	13~14	
理事長挨拶	理事長 近藤 勝	2~3	組合員の広場		
東京協組 第 47 回永年勤続従業員表彰式	4~7		「十五年を振り返って」	14	
皆川前理事長に対し感謝状の交付	7		美濃紙業(株) 守谷(営) 小菅 隆		
祝賀懇親会	8~9		「大相撲『土俵』の知識」	14~15	
副理事長挨拶	副理事長 清水弘允	9~10	城南支部 坂田秀一郎		
//	副理事長 松井隆宏	10	支部スケジュール	15~16	
青年部総会	青年部幹事長 廣田圭吾	10	お知らせ	16~17	
清風会ゴルフコンペ	荒川支部 廣田圭吾	11	「6・7月会議・催事予定」「古紙価格」「社名及び代表者変更」「組合員脱退」		
新理事挨拶	理 事 伊藤 滋	12	会議概要 [3月・4月・5月]	17~27	
支部便り			編集後記	広報部副部長 脇 克美	27
[総会開催]	台東支部長 高山昭二郎	12	広 告	28	
//	荒川支部長 久保田貞行	12~13			

時の視点

東京都製紙原料協同組合

第53回 通常総会 開催

日時：5月20日(水)午後3時～

会場：上野精養軒 3階「桜の間」

司会 赤染 清康 常任理事

開会の辞 松井 隆宏 副理事長

議長 清水 弘允 副理事長

閉会の辞 宮崎 勝保 常任理事



去る5月20日(水)、東京都製紙原料協同組合第53回通常総会及び第47回永年勤続従業員表彰式が開催されました。

当日は、初夏を思わせるほどの爽やかな日差しが差し込む天候となりました。会場は木立も一層緑色を増した上野公園内精養軒で行われ、多数のご来賓、業界新聞社の方々のご出席くださいました。

昨年末から始まった同時世界不況は、古紙業界も巻き込んだ大変厳しいものになっております。製紙会社の大幅減産、印刷出版業界の落ち込み、中国を中心とした輸出価格の停滞など、広範囲に及ぶ不況が進行しています。

しかし、製紙原料としての古紙の存在価値は、いささかも揺らぐ物ではありません。今後も地球環境維持を基本理念としたリサイクル社会到来の中、古紙業界は更にその存在意識が増していくことを確信しております。

古紙価格に関しては不況の影響で始まった市場の混乱により10月から極端な下げとなりました。中国向け輸出価格から始まった下げは国内メーカーの大幅な減産とあいまって、次第に全ての国内古紙価格に波及しました。回収古紙と異なり助成金のない産業古紙は価格の下げがそのまま仕入価格に直結します。このまま価格が下げ続けると古紙回収システムが崩壊する恐れがあるので取引先に対し理解と協力を求める活動を行いました。具体的には国内メーカーに対しては産業古紙の特徴を列挙し、価格および数量の極端な変動には慎重に対応されることを求める要望書を発送しました。古紙発生元に対しては緊急報告として2度にわたり変動する古紙市場に関する情報を提供しました。

理事長挨拶



東京都製紙原料協同組合

理事長 近藤 勝

関西では新型インフルエンザの影響で公立校の休校や多くの催事の中止等大変な状況となっておりますが、本日は大変お忙しい中、第53回通常総会に大勢のご出席を頂きまして誠に有難うございます。

今総会は役員改選期にあたります。私も理事長をお受けし2年が経過いたしました。振り返ってみますと前半は資源バブルで古紙価格が上昇、発生の減少も価格でカバーできる状況が続いておりましたが、後半は一気に価格が崩れ現在に至っております。そのような中、昨年10月には本組合の創立60周年記念式典が多くの関係各位のご協力の下盛大に挙行できたことは何よりの喜びでありました。心から厚く御礼申し上げます。

この2年間特に力を入れてきた事業が3点あります。1点目は全原連を中心とした各種認定制度、又、エコアクション21などの認証制度の取得推進。2点目はより情報交換を深める為に多くの関係団体との交流を深める事。3点目は共販事業を通して海外の情報を発信することでしたが、今回の急激な輸出市場の収縮により上物古紙の需給調整が全くできなかつたのは大変残念なところでありました。

現在、足元の発生は大幅に減少してきております。近い将来、再度、古紙不足の状況がやってくるのではないかと思います。その時こそ、組合として国際価格を見ながら古紙の適正価格、適正コストを再度見直すと共に、より効率的な回収方法模索の為に更に支部同士の交流を深めて行く事が重要だと感じています。今後、役員改選後も引き続き皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

議案審議

〔組合員総数 231 名中 本人出席 50 名、委任状提出者 108 名、議決権有効総数 158 名〕

第1号議案 平成20年度事業報告書承認の件
(坂田智 事業部部長)

第2号議案 平成20年度財産目録、貸借対照表および損益計算書承認の件
(高橋宏明 会計理事)

第3号議案 平成20年度剰余金処分案承認の件
(高橋宏明 会計理事)

監査報告 (朝倉行彦 監事)

第4号議案 平成21年度事業計画決定の件
(坂内大介 事業部副部長)

第5号議案 平成21年度における収支予算ならびに経費の賦課及び徴収方法決定の件
(高橋宏明 会計理事)

第6号議案 平成21年度における借入金額の最高限度額決定の件
(高橋宏明 会計理事)

第7号議案 平成21年度における加入手数料額決定の件 (高橋宏明 会計理事)

第8号議案 役員報酬の件
(清水弘允 議長より)

第9号議案 理事及び監事選挙の件

以上、第1号議案から第9号議案はすべて原案通り可決されました。



松井副理事長



坂田常任理事 清水議長



宮崎常任理事

最後は宮崎勝保常任理事が閉会の挨拶をされて通常総会は滞りなく終了致しました。

尚、今回は役員改選時期にあたり第9号議案の中で新理事と監事を選挙しました。

理事長、副理事長、専務理事、監事につきましては変更なく、理事3名が変更になりました。

新理事及び監事は次のとおりです。

理事 39名 (順不同・敬称略)

[理事長] 近藤 勝
[副理事長] 清水 弘允 ・ 松井 隆宏
[専務理事] 夏目 茂
[理事]
 近藤 正彦 村上 雄三 名古屋 勝彦
 菊池 武美 坂内 大介 ※人見 一男
 山田 祐康 上田 晴健 高山 昭二郎
 近藤 昌和 ※近藤 清司 久保田 貞行
 小林 健二 藤井 潔 大久保 信隆
 藤井 康夫 清水 明利 廣田 圭吾
 赤松 源裕 増田 唯之 高橋 宏明
 新井 勝夫 脇 克美 宮崎 勝保
 長井 義人 坂田 智 赤染 清康
 山口 勝弘 石橋 駒雄 黒田 義孝
 皆川 昇 工藤 裕樹 辻 忠敏
 竹内 義人 ※伊藤 滋 ※は新理事。

[監事2名] (順不同・敬称略)

腰越 彰 朝倉 行彦

第47回 永年勤続従業員表彰式

午後4時30分～

通常総会終了後、引続き行われた従業員表彰式には多数のご来賓の方々ご参加くださいました。

開会の挨拶を高山昭二郎総務部長がされたあと、上田理事の司会で本日表彰式に出席された被表彰従業員6名の方々に、近藤理事長から表彰状と記念品が贈呈されました。

司 会 上田 晴健 理事
 開会の辞 高山正二郎 理事・総務部長
 閉会の辞 菊池 武美 理事

ご 来 賓 (出席者)

- 衆議院議員 当組合顧問
松原 仁 様
- 東京都議会自由民主党 幹事長
高島 直樹 様
- 衆議院議員
斉藤 斗志二 様 (代理・斉藤喜一郎様)
- 東京都産業労働局商工部 経営支援課 課長
傳田 純 様
- 東京都産業労働局商工部 経営支援課
サービス情報担当係長
佐藤 正利 様
- 経済産業省製造産業局
紙業生活文化用品課 紙パルプ担当課長補佐
平松 克啓 様
- 経済産業省製造産業局
紙業生活文化用品課 古紙係 係長
佐藤 瑞樹様
- (財)古紙再生促進センター 理事長
堀川 澈二様
- (財)古紙再生促進センター 専務理事
鈴木 節夫様

- (財)古紙再生促進センター 常務理事
中村 好伸様
- (財)古紙再生促進センター 事務部長
白井 俊市様
- 関東製紙原料直納商工組合 理事長
深田 和利 様
- (社)東京都リサイクル事業協会会長
上田 雄健 様
- 東京都資源回収事業協同組合 理事長
吉川 太郎 様
- 東京都印刷工業組合 専務理事
武石 三平様
- 商工組合中央金庫上野支店 支店長
則籐 誠司 様
- 東京都中小企業団体中央会 主査
鴨志田 弘行 様
- 東京返本加工協同組合 理事長
工藤 裕樹 様
- 東京返本加工協同組合 専務理事
稲生 正俊 様
- 東京返本加工協同組合 総括部長
深澤 進 様
- 東京都製紙原料協同組合 顧問
富澤 一郎 様
- 東京都製紙原料協同組合 相談役
野村 宮三郎 様
- 東京都製紙原料協同組合 相談役
檜原 邦明 様
- 大同生命保険(株)上野支社 課長
吉川 修司 様
- あいおい損害保険(株)東京北支店支社長
柴宮 光人 様
- (株)ウイルプロモート 社長
近藤 靖俊 様
- 杉山会計事務所 所長
杉山 靖彦 様

表彰従業員氏名

- 男性 ◆ 女性 (順不同、敬称略)

〔勤続20年以上〕 2名

- 原 健一郎 [三弘紙業(株)]
- 村上 孝之 [皆川商事(株)]

〔勤続15年以上〕 6名

- ◆ 増田 智恵 [三弘紙業(株)]
- 山中 秋信 [三弘紙業(株)]
- 岡 敬二郎 [三弘紙業(株)]
- 斎木 豊 [三弘紙業(株)]
- ◆ 菊地 恵子 [(株)富澤]
- 小菅 隆 [美濃紙業(株)]

〔勤続10年以上〕 7名

- 寛田 昭人 [(株)富澤]
- 寺澤 治朗 [美濃紙業(株)]
- ◆ 植松 清美 [美濃紙業(株)]
- 古谷 正司 [美濃紙業(株)]
- ◆ 浜野 洋子 [美濃紙業(株)]
- 駒井 克久 [(株)共益・商会]
- 牛島 利之 [(株)共益・商会]

〔勤続5年以上〕 13名

- 日置 準次 [グリーンロジテック(株)]
- 高橋 正行 [グリーンロジテック(株)]
- 柳川 喜一 [グリーンロジテック(株)]
- 細川 悦弘 [(株)富澤]
- 尾崎 博一 [(株)富澤]
- 山木 順一 [美濃紙業(株)]
- 石河 喜一 [美濃紙業(株)]
- 近藤 房一 [美濃紙業(株)]
- 前田 将史 [美濃紙業(株)]
- 山内 武夫 [美濃紙業(株)]
- 谷津田 貴弘 [(株)共益・商会]
- ◆ 新谷 幸子 [(株)共益・商会]
- 浜田 一雄 [大洋紙原(有)]

以上 28名(女性5)



高山総務部長

第47回

永年勤続表彰 理事長挨拶

ただ今、ご紹介がありましたように先ほどの総会におきまして今期も引き続き理事長を仰せつかりました美濃紙業(株)の近藤です。各役員、組合員の皆様のご協力を頂きながらこれからの組合活動を進めて参りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

本日は第47回永年勤続表彰式に東京都議会議員の高島直樹様、東京都産業労働局様、経済産業省様、古紙再生促進センター様そして多くのご来賓の皆様方にお忙しい中ご出席賜りまして誠に有難うございます。

大勢のご来賓の前で、今年度は28名の従業員の方々の表彰式ができますことは組合員一堂、この上ない喜びであります。現在、世界経済が大変不安定で厳しい中ですが、紙のリサイクルはどんな時代が来ようと続けなければならない産業です。しかし、この厳しい状況を乗り越えるには世界に通用する古紙の品質、そして価格、より効率的な作業が重要になってきます。社員の皆さんはそれを支える一番重要な仕事をしているわけでプロとしての確かな目、コンプライアンスを徹底する力を今後もしっかりと付けていって欲しいと思います。そして特に10年以上の表彰者の皆さん

には今までの経験から得た知識を後輩に伝えるという重要な仕事もあります。今後もあらゆる面で会社を支える力になって頂く事を期待しております。

最後になりますが、本日は東京都産業労働局長賞の授与式も行われます。最後まで皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます



来賓ご祝辞

□ 衆議院議員 当組合顧問

松原 仁 様



□ 東京都産業労働局商工部 経営支援課 課長

傳田 純 様



- 経済産業省製造産業局
紙業生活文化用品課 紙パルプ担当課長補佐
平松 克啓 様



- (社) 東京都リサイクル事業協会会長
上田 雄健 様



***被表彰者を代表して三弘紙業（株）原健一郎様より謝辞をいただきました。**



表彰者全員

皆川前理事長に対し感謝状の交付

今回は永年勤続従業員表彰式の後、長年、当組合にご尽力くださいました皆川前理事長に対しまして東京都産業労働局長から感謝状の贈呈がありました。

産業労働局長が都合により欠席のため、東京都産業労働局商工部経営支援課、傳田課長より感謝状が交付されました。当組合からは、近藤理事長が代表しまして記念品の贈呈をいたしました。



東京都産業労働局から感謝状の贈呈



皆川前理事長

祝賀懇親会 午後5時30分～

去る5月20日(水)、通常総会、永年勤続従業員表彰式に続き5時30分より祝賀会が開催されました。

司会者の赤松源裕常任理事の開催の辞に続きご来賓を代表して衆議院議員斉藤斗志二様(秘書による代読)、(財)古紙再生促進センター理事長、堀川徹二様、関東商組理事長深田和利様のご祝辞をいただき、司会者より他のご来賓(約20名程)の紹介の後、東資協理事長吉川太郎様に乾杯の音頭をとっていただき宴が開かれました。

当日総会を行った青年部の面々も参加して賑やかに歓談の輪がひろがってゆきました。

黒田義孝常任理事の中締、閉宴の辞でおひらきとなりました。総会から出席頂いた組合員の皆様にはお疲れ様でした。

司会 赤松 源裕 常任理事
中締め 黒田 義孝 常任理事

来賓ご祝辞

- 衆議院議員
斉藤 斗志二 様
*代読 秘書 斉藤喜一郎 様
- (財)古紙再生促進センター 理事長
堀川 徹二様
- 関東製紙原料直納商工組合 理事長
深田 和利 様

乾杯のご発声

- 東京都資源回収事業協同組合 理事長
吉川 太郎 様

また、都合がつかず来られませんでした、株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長、岡 哲夫様、組合事業でお世話になっている大同生命保険(株)取締役社長 倉持治夫様よりご祝電を頂戴いたしました。

衆議院議員

斉藤 斗志二 様

*代読 秘書 斉藤 喜一郎 様



(財)古紙再生促進センター 理事長
堀川 徹二様



関東製紙原料直納商工組合 理事長
深田 和利 様



東京都資源回収事業協同組合 理事長

吉川 太郎 様



黒田常任理事

副理事長挨拶



東京都製紙原料協同組合

副理事長 清水 弘允

第53回総会も無事終了し、近藤理事長体制となって3年目が正式にスタートしました。

私も副理事長として3年目を迎える事となりましたが、今年度も総会で承認を頂いた事業計画が各業務部で順調に執行されるよう、お手伝いして行きたいと思えます。事業方針にも述べられていますように今年度の事業方針は2つに大別することが出来ます。1つは古紙業界が置かれている厳しい現状に如何に対処すべきかと言うこと。もう1つは中長期的な観点から組合が進むべき道をさぐることです。

1つ目に関する活動としては、やはり仕入先・発生元である製本業界、印刷業界の諸団体と今まで以上に意見交換や情報交換をする機会を作り、理解を深める必要があります。個々の企業では出来ない事が業界単位では出来るのではないのでしょうか。納入先としては製紙業界との交流、海外市場の視察および開拓が必要です。この分野でもやはり個々の企業では出来ない、組合だから出来る交流があると思えます。さらに我々に近い業界として東資協との交流、同業界である関東商組との交流など同じ悩みを共有する団体との交流は得るものも多いのではないのでしょうか。

2つ目の中長期的な観点で行う活動も課題は尽きません。全原連の指導のもと「古紙リサイクル・

アドバイザー制度」「古紙商品化適格事業所」の認定・維持の件は非組合員との差別化として導入されましたが、運用面で検討すべき点がまだ残っています。プライバシーマークを組合主体で取得する事も宿題です。また監督官庁との交流を通じて古紙を取扱商品として捉えるだけでなく、ゴミ化対策、カーボンフットプリント、地球環境などの観点から捉える考え方を学びたいと思います。

更に組合員相互の親睦、福利厚生に関する活動、それに次代を担う青年部のメンバーが、どうしたら組合活動にもっと積極的に参加するようになるのか、担当業務部の取り組みの、お手伝いが出来たらいいと思います。

副理事長挨拶



東京都製紙原料協同組合
副理事長 松井 隆宏

20年度の総会も終了しました。昨年の同時期と全く市況状況で気分の違う総会でしたが無事に今期も過ごせたことは何よりです。

市況がよければ過当競争があり、悪くなれば競争さえできない状況になってしまう、まあ熱を冷ます意味でもこんなことも必要なのかなー？ とあきらめ気分で思ってしまう。けれども総会祝賀会にもぎやかな時が過ごせ、良かった。来年はどんな状況での総会なのかなー、と思うが如何なる状況であろうともこの先しっかり頑張っていかなければなりません。

組合員全体の為の組合運営ができればと思います。理事はもちろん総会に多数の方が出席していただいておりますが、一般組合員の方々も組合に興味をもっていただいて、さらに多くの出席者の中で総会ができればと思います。

青年部総会開催

青年部幹事長 廣田 圭吾

去る5月20日、組合総会と日を同じくして青年部通常総会が上野精養軒で開催されました。

出席者と委任状出席により総会は成立し、下記各議案もそれぞれ承認され、無事に総会は終了しました。

第1号議案 平成20年度事業報告承認

第2号議案 平成20年度

会計決算報告承認 監査報告

第3号議案 平成21年度事業計画決定

第4号議案 平成21年度収支予算決定

第5号議案 役員改選の件

今期より長年にわたり青年部部員に御指導御鞭撻頂いた工藤青年部長が勇退されます。常に笑顔で頼れる兄貴分であり、時には厳しく熱く我々を指導頂いた工藤部長には、部員全員に代わり深く御礼申し上げる共に、今後も変わりなく青年部を見守って頂ければとお願い申し上げます。

また当日は、本部より松井副理事長、宮崎集荷部長にご来賓頂き、誠に有難うございました。



第50回 清風会ゴルフコンペ開催

荒川支部 廣田 圭吾

ラッシュ時間の地下鉄に乗ってゴルフに行く…
滅多にできない経験？早起き当たり前のゴルフに
あって、いつもと変わらぬ起床時間で、カバン
一つで駅に向かうと近所の方に声をかけられまし
た。

「旅行ですか？」「いえ、ゴルフです」

相手の怪訝な顔を背にサラリーマンの列を歩
く。普段、トラックで仕事に出かける自分にとっ
て少しウキウキした気分させられました。そう。
今回の清風会のコースは若洲ゴルフリンクス。
江東区の新木場駅からバスで10分ほどの有り得
ない近さ。

そして気分をウキウキさせる理由がもう一つ。
清風会はハンデ戦。去年初参加してからのハンデ
は目一杯の三十六。相変わらずの腕前もたまには
パーも取れるぐらいになってきた。直前二回の
コンペでは百半ばのスコア。今回、それぐらいで
廻ればハンデに恵まれて…小さな野望(浅はかな
野望)を胸に新木場駅に降り立ちました。

さて、若洲ゴルフリンクス。東京都の公共コー
スということもあり、クラブハウスはシンプルな
雰囲気ですが、コースは本格的。西にディズニー
ランド、東に都心の高層ビルを見ながらのティー
ショット。見事フェアウェイキープ。こりゃいけ
るかも…

キャディーさん曰く、「海に突き出している
コースなので、風がない日は年に数えるほど。今
日みたいな無風はホントに珍しい」

ただでさえ曲がるボールが持ち球の自分には有
難い。ますますいけるかも…

ランチです。ハーフ52。

「ヒロチャン、もう優勝間違いないよ」

と一緒に廻る近藤理事長。

「後半56でも大丈夫だよ」

と一緒に廻る赤松さん。

「優勝の前祝いだ。飲もう飲もう」

電車で来てました。飲みました。いい気分でし
た。はい。スピーチ考えてました。

後半スタート。パットを打つ時に気付いた。
酔ってます。かなり。傾斜なんてわからない。
「フックしますよ」キャディーさんの言葉に「ス
ライスじゃないの？」平衡感覚失われてます。

後半58叩きました。1打差で2位でした。
赤松さんの言うとおりでした。36のハンデに頼っ
ての初優勝の(浅はかな)野望は砕けました。
でも2位も正直かなり嬉しい。

ゴルフ初入賞ですもの(負け惜しみ)

優勝は清水副理事長でした。おめでとうございます。
はい悔しいです。

3位は当日スペシャルゲストで飛び入り参加の
近藤千代田支部長でした。

そして、今回の幹事でコース予約して頂いた
坂田秀一郎さん、ありがとうございました。大変
人気のあるコースでのコンペ開催で、とても印象
に残りました。

今後は、ハンデに頼らず、己の腕を磨いて優勝
を目指して頑張りたいです。と言いたいところす
が、入賞によるハンデ減でもまだまだ残っている
ので、ハンデ様にはもうひと頑張りしてもらおうか
な…



成績は次の通りです。

優勝 清水 弘允 グリーンロジテック(株)

準優勝 廣田 圭吾 (株)廣田

3位 近藤 正彦 (有)近藤商店

新理事挨拶

理事 伊藤 滋

私が組合にお世話になるようになって、17年ほどが過ぎました。

大学を卒業後、金融機関に就職。その後に転職したばかりの私には、右も左もわかりようもなく、ただ父(先代社長)に言われるがまま連れ従うのが、自分にとっての仕事を感じる近道と思っていました。

その日は忘年会だったのか、新年会だったのかはよく覚えていません。父の後に続いて会場に入ると、何故か父とは別のテーブルに案内され着席しました。同じテーブルの方々と軽く挨拶を交わしましたが、誰もが私と同じ面持ちで、これから何が始まるのだろうかと考えているようでした。

会が開催されるとすぐに組合(城北支部?)のイベントだということは理解できました。やがて私がそこに座っている理由も明らかになります。広神さんの「本日より発足します。青年部員起立!」という掛け声のもと、同じテーブルの方々が、顔を見合わせながらパラパラと立ち上がりました。

「・・・これかぁ!」後で聞くと、そのとき入会と相成ったほとんどの方が、何もきかされておらずに同じ思いだったそうです。そして、今も仲良くさせていただいておりますことは、ありがたいことです。

このようなきっかけで組合に加えていただいた私は、今期より理事を拝命いたしました。恩返しも含め、微力ながら尽力させていただく所存です。宜しく願い申し上げます。

支部便り

台東支部総会

台東支部長 高山 昭二郎

5月11日(月)上野「大昌園」で総会を開催致しました。冒頭の挨拶で出席された新会員「丸房紙業」さんの紹介があり、念願の加入者に盛大な拍手で迎えました。事業報告、会計報告、事業計画案等、審議も速やかに終え、長老野村社長の乾杯の発声で懇親会に入りました。焼肉料理は中々忙しいものですが、各テーブルに鍋奉行ならぬ焼奉行居るもので、皆様飲み、かつ食べながら仕事、又、遊び話で時間も超過。(株)近藤商店の社長の手メでお開きとなりました。今後の予定は7月中旬に納涼会、9月中旬に定例会を行う事を皆さんに伝え、解散となりました。

荒川支部総会開催

荒川支部長 久保田 貞行

4月11日(土)箱根湯本「河鹿荘」に於いて第62回荒川支部通常総会を開催。

第1号議案より第7号議案まで滞りなく承認、決定され 役員改選も全員留任という事になりました。

会議の中で、支部会、十日会に出席される方が年々少なくなってきている事から尚一層の皆様のご協力を得ながら、私ども役員もさらに努力しなければと思っております。

当日 (株)大久保の大久保信隆社長より 日本と

中国、米国の今後の古紙状況についての講演を頂きました。

その後は懇親会に移り楽しい宴となりました。



二次会の席にたまたま別の会合で箱根湯本にいらしていた近藤勝理事長が突然ご参加くださりびっくりいたしました。

お忙しい中、本当に有難うございました。

山手支部総会を開催

山手支部 庶務 徳永 裕司

去る4月18日(土)「鯨やなぎ」において、平成20年度総会を開催致しました。支部員総数25社中16名の出席者と委任状を含め総会は成立し、20年度の事業報告、会計決算報告及び監査報告、予算案、金融部報告が承認されました。また本部理事の任期満了に伴い支部長に脇克美氏が、理事には宮崎勝保、長井義人の両氏が就任いたしました。

総会后、懇親会にうつり、厳しい商況ながらも互いに明日への英気をやしないつつ盛会の後お開きとなりました。

城北支部 34 回総会

城北支部長 黒田 義孝

平成21年4月18日(土曜日)

城北支部では2年に1度役員改選期に1泊旅行する事に成っているため熱海温泉聚楽にて開催しました。

部員49社準支部員2社中、欠席委任状28通出席者9名 確認して総会に入り、

- 1号議案 平成20年度事業報告
 - 2号議案 平成20年度収支決算報告
 - 3号議案 監査報告
 - 4号議案 平成20年度余剰金処分
 - 5号議案 付帯決議事項(青年部助成金)
 - 6号議案 支部推薦理事及び評議委員選出の件
- 全議案が承認されました。

今回新しく理事に(株)千足 伊藤滋氏、
評議委員 桑原秀一商店 桑原秀一氏、
(有)武田商会 武田誠一郎氏を推薦承認された。
城北支部 理事、評議委員

理事・支部長 (有)黒田商事 黒田義孝
理 事 皆川商事(株) 皆川昇
理 事 (株)工藤商店 工藤裕樹
理 事 (株)辻商店 辻忠敏
理 事 タケヨシ紙業 竹内義人
理 事 (株)千足 伊藤滋
評議委員 (株)丸康商店 郷野重孝
評議委員 船戸商店 船戸武男
評議委員 (有)中村紙業 中村徳昭
評議委員 スズ紙業 鈴木義勝
評議委員 桑原秀一商店 桑原秀一
評議委員 (有)武田商会 武田誠一郎

総会が終わってからコンパニオンを入れて、新理事の伊藤さんの司会で懇親会に入り、お酒が入るにつれてカラオケなどで大いに盛り上がりました。又、このホテルの宴会場から見る熱海の

100万ドルの夜景が一望できてすばらしかった。今夜は、熱海海岸の花火が上がりこれも素晴らしかった。古紙価格も花火のようにドーンと上がる事を願ってお開きになりました。

有志でコンパニオンと二次会三次会と回って帰りは午前様。朝食すませて自由解散。皆さんおみやげを買われて帰られました。



組合員の広場

十五年を振り返って

美濃紙業(株)守谷(営) 小菅 隆

平成六年に入社し、早いもので永年勤続十五年の表彰を受けることに大変喜びを感じています。改めて振り返って見ると色々な経験をさせていただきました。最初は守谷営業所に勤務し、現専務のもとでご指導いただきました。そしてつくば営業所開設時にはオープンヤード勤務ということでスタート時の苦労を経験させていただきました。再び守谷営業所に戻ってからは、大型トラックによる製紙メーカーへの配達及び引取り業務の担当となり関東各地のお客様の所に行かせていただいております。あっという間の十五年間でしたが、美濃紙業に勤めることが出来本当に良かったと思っています。これからも安全運転を心掛け、会社の為にも一生懸命働いて行きたいと思っております。

大相撲『土俵』の知識

城南支部 坂田 秀一郎

いつだったか忘れてしまったが、銀座をブラブラ歩いていて4丁目の「鹿の子」の店頭で銀座百点という雑誌を入手したのであるが、銀座をブラブラ歩くのを銀ブラという。しかしこれは本当の意味は銀座でブラジルコーヒーを飲むことであると何処かに書いてあった。

さて、内館牧子横綱審議委員の対談模様が掲載されていた。内館牧子氏は朝青龍が嫌いである。横綱朝青龍が横綱らしくない振る舞いや態度を度々観客に見せるので、見ている者は癪に障るし面白くない。これは相撲ファンなら当然の事である。しかし、あの傍若無人の態度であったが、初場所では稽古不足で引退も視野に入れ、崖っぷちの状況から14勝1敗で見事優勝の栄冠に輝いたのであるからあのヤンチャな態度も多分仕方ないかなんて認めさせられてしまう。やっぱり強いということは凄いことである。

ところで、この小雑誌に土俵について書いてあったので知識として纏めてみると、国技となったのは1909年 丁度100年前、その時は『大角力協会』といった。相撲の始まりは、伝説で「野見宿禰」からだというのが、紀元11世紀という説もある。

1648年 今から360年前は土俵はなかった。相撲を取る場所を「方屋」といい、辻で相撲を取っているのを皆が周りを丸く取り囲んでいるので「人方屋」と言っていた。

これは荒くれ者達の辻相撲で喧嘩も多く、江戸幕府が禁止したので、36年間出来なかったこともある。元禄12年、1699年土俵の成立を見る。相撲というのはもともと雨乞いや五穀豊穰①アワ②キビ③麦④米⑤豆などが沢山収穫出来るよう祈

る神事である。土俵の本当のつくり方、実は国技館の土俵というのは、神が降りてくる座ですから、毎場所つくりかえる。それも呼び出しさんがつくる。呼び出しさんは40人ほどいて、秀男さんという監視役で、残り全員が一つも機械を使わないで、全部手で4日間かけてつくる。朝七時から作業開始、第1日目、前の土俵をスコップで壊して台車で土を運び出し、新たな土を運んできて呼び出しさんが全部足で踏み固めて、水を撒いて固める。

これが第1日目、第2日目は呼び出しさんが土を詰めて、一俵ずつ俵をつくる。そしてそれを土俵の円形に埋めて行く。この時まっすぐな俵をビール瓶で叩いてカーブをつける。ビール瓶は俵を叩く時、便利に使う。力士の頭を叩く為には使うのはご法度である。勝負俵は力士には命であるから少しでもデコボコがあったら大怪我をする。だからたいへんな責任が伴う。土俵をつくる為またひたすら叩く。驚くことは、四角い台座の中央に4メートル55センチ、15尺の丸い円を描くのもコンパスなど使わない。土俵下の東西南北に普段は見えない赤い線があり、その赤い線を北と南、東と西を荒縄で結んで中心を定め、そこにクギを立て、そこから細い糸を引いてきて、先にクギをつけてそのクギを持った呼び出しが、コンパスの様に走って円を描く。土俵の中心となる設計である。すごく驚いた。大相撲という世界の中心軸が土俵の中心なのだ。

そうして4日間かけて土俵をつくと最後に呼び出し次郎さんが掌で土俵を触り「2メートル5分」というと、明かりのついた吊り屋根が2メートルのところの下りてきて、5分照射する。どれくらい乾かしたら初日のときにいいか、具合を見る。理想の乾き具合を体の感覚で決めていて、すべて手づくりだ。17才の呼び出しから60才ちょい前の呼び出しで造っているのである。土俵が一

つの小宇宙みたいになっている。いちおう神の降り給う場所であり素朴な信仰がそのまま生きている。

昭和27年迄は四方に柱が建っていたが柱を撤去したので、屋根から神が降りてこれないと思うので現在は四本の房がつけてある。初日の前日には土俵祭りがあり、神を降ろす儀式がある。立行司が神主の格好で神を降ろして御幣に憑依させて、それを四隅の房にくくりつける。それほど大相撲は神事なのである。だから横綱は、いわば神の代理人なのだから横綱は品格が問われる存在なのであるからみんなの模範にならなければいけないのである。この様な事が載っていたので、今後大相撲を観戦する時は、又違った見方が出来るかも知れないので一筆描きました。

支部スケジュール

千代田支部

- 納涼会 8月29日(土) 屋形船
- 支部会 9月7日(月) 水道橋 茶の家

中央支部

- 支部会 7月10日(金) 場所未定

文京支部

- 支部会 7月8日(水)
- 納涼会 8月8日(土)

台東支部

- 納涼会 7月中旬
- 支部会 9月中旬

荒川支部

- 納涼会 8月 場所及び日にち未定

足立支部

支部総会 6月26日(金)

山手支部

支部会 6月19日(金)「鮎やなぎ」

支部会 7月18日(土) 同上

8月1日(土) 家族、従業員慰安会

場所: 椿山荘 pm6:00

城南支部

支部会 6月19日(金) 大崎 pm6:30

納涼会 7月25日(土) 目黒雅叙園

江墨支部

支部旅行 6月20日(土)～21日(日)

納涼会 7月18日(土)

城北支部

支部会 7月10日(金) 琉球飯店

8月2日(日) 日帰り旅行

(山梨県 桃狩り)

お知らせ**[6月会議・催事予定]**6月23日(火) 古紙センター関東地区委員会
(pm2:00～) センター会議室" 集荷部委員会 (pm6:00～)
組合会議室6月25日(木) 静岡県紙業協会家庭紙部会との
懇談会 事前会議 (pm1:15)

本会議 (pm2:00)

富士工業技術センター

6月30日(火) 第4回古紙リサイクルアドバ
イザー講習会 (pm6:30～)

組合会議室 城北支部

[7月会議・催事予定]

7月3日(金) 常任理事会 (pm2:00)

理事会 (pm3:30)

清風会研修会 (pm5:00)

清風会納涼会 (pm6:00)

上野東天紅

7月15日(水) 第5回古紙リサイクルアドバ
イザー講習会 (pm6:30～)

組合会議室 荒川支部

7月24日(金) 製本工組との古紙関係協議会
(pm4:00～) 上野精養軒7月29日(水) 第6回古紙リサイクルアドバ
イザー講習会 (pm6:30～)

組合会議室

中央・文京・城南・江墨の4支部

8月4日(火) 第8回古紙リサイクルアドバ
イザー講習会 (pm6:30～)

組合会議室

台東・足立・山手3支部と東
京返本加工協同組合**[古紙価格]****[東資協の古紙4品の標準売値]**

平成21年5月8日現在

新聞 6～7円(横ばい)

雑誌 3～5円(横ばい)

段ボール 5～6円(横ばい)

色上(並) 3～5円(横ばい)

[古紙品質調査事業]

平成21年4月～6月価格

[新聞 古紙] 14,000円/トン

[段ボール古紙] 16,000円/トン

[社名及び代表者変更]

[千代田支部]

古川商店 古川和男

(有)フルカワ 代表者 古川 正和**[組合員脱退 平成 21 年 3 月末脱退]**

[千代田支部]

神田川善 (代表者 村瀬 正治)

廃業のため

[中央支部]

西巻商店 (代表者 西巻 隆)

業務縮小のため

[城北支部]

(有)三伸鈴木商店 (代表者 鈴木 繁)

高齢のため

会議概要 [3月4月5月]**3 月度 定例理事会**

[平成 21 年 3 月 3 日 (火)] PM4:00

出席理事 29 名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

3月に入っても相変わらず市況は大幅に厳しい状況が続いております。2月は東資協の新年会・東印工の組合員のつどいに出席し、神奈川商組の60周年記念行事にも参加いたしました。また、組合では古紙リサイクルアドバイザーの講習会が2回開催され無事終了いたしました。そして、後半は、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会に向け集直正副委員長会議、直納部委員会を開催しました。事前に当組合より家庭紙部会宛てに「要望書」を作り送りましたが、開催前に価格修正の連絡があり残念な結果となりました。早いもので総会があと2ヶ月後と迫っております。準備等で

色々大変でしょうが本日もよろしく願いいたします。

[各部報告]

[総務部] 組合会館テナントの(株)ロータスの賃借料未払いについて2月末までに予定の60%が入金となった。

残金を今週末までに入金予定である。

[直納部]

古紙の市況は3月に入りますます酷くなってきている。3月の共販輸出事業は2社が入札に参加したが、価格面で折り合いがつかずスキップ対応とした。

2月23日の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会では、「要望書」についてをお願いをした。家庭紙メーカーとはかなりの温度差があった。各メーカーからの発言では、原料の安定供給と品質の維持についての要望が圧倒的に多かった。3月も下げが止まらない感じとなっている。集荷の状況を説明したが、あまり親身に受け取ってもらえない様子であった。

[品目別市況]

[新聞・雑誌・返本・切付] 新聞、雑誌は段ボールと同じ状況。先行きが暗く底が見えない状況。輸出も苦しい状態である。

切付は3月下げており、相場が下がれば下がる状況。発生は悪い。

返本は昨年比2割程度発生が落ちている。

[段ボール] 段ボールは、アメリカ・ヨーロッパが下がっており模様眺めの状況。全産業が需要の減退となっている。日本の国内メーカーは減産を重ねている。非常に悪い状態で3月を迎えている。

[台紙] 今まであまり動いていなかったが3月から値下げとなった。操短の影響で受け入れが悪い。上台紙は、ここへきて動きが良くなった。

[オフィス古紙] 今月に入り家庭紙メーカーが減産をしているので、その影響が出てきている。機密書類が通常の使い方と違うのでオフィス古紙がその分、入らなくなっている。輸出が組めなくて発生も悪く厳しい状況である。

[集荷部]

これ以上の価格修正が続くと、集荷のシステムが崩れ仕事が出来なくなってしまう。先が見えない状況の中で発生が落ちていく状況となるのか。逆有償の方向にいかなくてはならなくなってしまうのか。

[広報部]

広報誌は現在、3月号の発行段階に入っている。今回は「時の視点」がメインで、市況等の情報を掲載するので利用してほしい。

5月総会号からA4ヨコ書き版に改正して実施する。

3月25日ごろまでには総会用資料を用意しなければならない。業務部長より次年度の事業計画を提出してほしい。

[事業部]

労働時間等設定改善推進事業のアンケートがまとまったので報告をする。組合員への送付は3月中旬になる予定。

[青年部]

3月1日～2日に青年部と理事との親睦旅行を実施した。

[近代化推進事業委員会]

経営革新委員会:古紙リサイクルアドバイザーの講習会を1月28日・2月5日、20日に実施した。
IT委員会:3月11日にIT委員会を実施予定。

古紙センター業務委員会

[平成21年3月17日(金)] pm2:00～
於)古紙センター会議室

- [1] 平成20年度第2回評議員会(3/6)、第44回通常理事会(3/17)の報告
- [2] 古紙標準品質規定の一部改訂について
- [4] 平成21年4月～9月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について(最終ページ参照)
- [5] 古紙の需要・市況動向については、紙面の都合で割愛させていただきます。

全原連平成20年度第7回役員会報告

[平成21年3月17日(火)] 15:20～
於)古紙センター会議室

理事・監事60名:出席59名(内、委任出席27名)
欠席0名 欠員1名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(1月23日,3月13日開催)

◎紙リサイクル団体への表彰状交付に関する件。

表彰団体名:神奈川県製紙原料商業協同組合
(2月22日設立60周年記念式典授与)

推薦地区委員会:関東地区委員会

◎平成21年度事業計画(案)に関する件。

*当センターの重要な事業活動は、紙リサイクルの安定的な拡大を図るため、古紙品質の維持向上と供給の安定を図ることにあります。平成21年度においては、引き続き安定供給・品質確保に重点を置いて、古紙品質安定対策、広報宣伝、調査研究等の各事業を効率的に実施することとします。

◎平成20年度第2回評議員会(3月6日開催)、第44回通常理事会(3月17日開催)の報告に関する件。(評議員会・通常理事会上程承認事項)

*平成21年度事業計画、平成21年度収支予算、公益財団法人への移行認定申請、公益財団法人移行に伴う最初の評議員選任方法、常勤役員の報酬・退職手当規定改定。

*公益財団法人移行時における理事・評議員推薦選出に関する件。

公益財団法人移行時に理事20名、評議員20名(現行理事40名、評議員40名)となるため、センター地区委員会(全国8地区)より選出することを全原連役員会で承認されましたので4月一杯に事務局へ提示願います。

◎平成21年4月～9月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画に関する件。

段ボール：4月～6月見直案 1,759,248t
(前年比87.8%)

7月～9月計画案 1,770,181t(前年比85.9%)

4月～9月計画案 3,529,429t(前年比86.9%)

新聞：4月～6月見直案 1,059,406t
(前年比91.1%)

7月～9月計画案 1,048,582t(前年比92.4%)

4月～9月計画案 2,107,988t(前年比91.8%)

雑誌：4月～9月見直案 563,759t
(前年比86.8%)

7月～9月計画案 564,927t(前年比93.6%)

4月～9月計画案 1,128,686t(前年比90.1%)

◎古紙標準品質規格の一部改定に関する件。

現行：B類(感熱紙・芳香紙・臭いのついた紙)

改定：B類(感熱紙)、A類(芳香紙・強い臭いのついた紙)

◎その他に関する件。

*古紙回収推進事業のイベント予定

関東地区：東京・西銀座での街頭キャンペーン

3月20日(金)～3月22日(日)

11:00～18:00(西銀座デパート)

(2) 経産省 関係

◎経済産業省紙業生活文化用品課ヒヤリング(3月5日)に関する件。

12月、3月余剰ピークを予想、ヒヤリングを行う。説明として関東地区中心に在庫推移は12月末30.6%、1月末27%、2月末22%、正常15%であり、12月末異常である。1月末、2月末の在庫は輸出ドライブの結果、在庫減少。今後、5月が余剰ピークになるだろう。メーカーの減産も4月以降需要に合わせた生産になるだろう。また、最悪の場合、RPFエネルギーに転嫁。

◎環境物品等の調達の推進に関する基本方針(21年閣議決定)

コピー用紙、印刷、清掃、機密文書処理(資料参考)

◎カーボンフットプリント制度の構築に向けて(資料参考)

(3) 全原連 関係

◎審議事項(役員会上程、承認事項)

①「古紙商品化適格事業所」の有効期限変更に関する件。

*「古紙商品化適格事業所認定証」有効期日変更平成21年3月31日を平成22年3月31日に1年間延期する。

尚、有効期日変更に伴う認定証の再交付はいたしません。

②「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定に関する件。

・古紙商品化適格事業所：12月15日(11社、15事業所)3月15日(5社、9事業所)累計(379社、768事業所)

・リサイクルアドバイザー：12月15日(10社、22名)、2月15日(8社、15名)3月15日(16社、42名)累計(401社、1,699名)

③平成21年度事業計画(案)及び近代化推進事業各委員会事業計画(案)に関する件。

- ・21年度事業計画(案)及び各委員会事業計画(案)の内容を検討の上、また、委員会メンバーの訂正等あれば事務局へ提示願います。

④国内古紙需給安定システム構築委員会設置に関する件。

設置の目的は、国内価格を維持することが第一条件であり、国内古紙需給安定策を考慮する。そのために需給両業界でシステムづくりを行い、全原連の中で特別委員会を設置し検討する(回収業者を擁護することを考慮)。これに対し経済産業省紙業生活用品課も支援するとのこと。

⑤報告事項

- ・新年会収支報告(1月23日浅草ビューホテル開催)

収入：870,000円、支出：1,217,280円、予算1,000,000円

- ・新聞広告費用報告(当初予算全原連、関東商組負担7,500,000円 総額15,000,000円) 総額13,614,300円(全原連、関東商組6,807,150円)

尚、センター負担分1,260,000円

- ・古紙回収システム維持への支援お願い書について

日本製紙連合会、製紙メーカー社長、家庭紙メーカー社長宛に送付。

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会(1月23日開催)

- ・「古紙リサイクルアドバイザー」研修講習会開催に関する件他。

●需給委員会(2月21日開催)

- ・海外市場調査(イギリス、オランダ)反省会。

●IT推進委員会(1月23日開催)

- ・ホームページ見直し他。

古紙センター関東地区委員会

[平成21年3月23日(月)] pm2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 09/2月 単位トン、()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	69,507	(88.2%)
	出荷	71,412	(90.7%)
	在庫	15,020	(21.0%)
[雑誌]	仕入	53,602	(96.4%)
	出荷	57,930	(101.3%)
	在庫	12,325	(21.3%)
[段ボール]	仕入	114,701	(93.5%)
	出荷	119,025	(95.9%)
	在庫	28,410	(23.9%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	205,947	(81.5%)
	消費	210,626	(81.7%)
	在庫	159,195	(75.6%)
[雑誌]	入荷	96,047	(86.4%)
	消費	99,222	(84.6%)
	在庫	80,121	(80.7%)
[段ボール]	入荷	224,628	(82.7%)
	消費	219,233	(80.1%)
	在庫	141,647	(64.6%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌] 新聞の発生量は前年対比で減り続けており、ここ半年ばかり変化がない状況である。雑誌の発行も冊数管理で減少している。発生は前年と比べ2000トン減っており発行部数に反映している。

[段ボール] 段ボールは、メーカーの操短が影響し発注の追加減になっていった。輸出を増やした

ため、集荷より出荷が多かった。今後はメーカーの購入次第で情勢がどうなるか。

[メーカー側コメント]

新聞の各メーカーの在庫率は75.6%で回収量は減っているが在庫は潤沢である。

段ボール製品の動きは、2月は前年に比べ低調だが3月は90～95%の予想をしている。ビール用の段ボールの動きと飲料関係が春になり動き、段ボール古紙は2月は大幅減産と発注抑制をしたが在庫は減らなかった。3月も発注を抑制し4月も引き続き抑制して在庫調整をしたい。

4 月度 定例理事会

[平成21年4月3日] PM 4:00

出席理事 26名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

4月に入り在庫調整などによる期待があったが、相変わらず市況の方が良くなる。昨年末に続き3月に「緊急報告の続報」を組合員及び製本工組、東印工組宛てに出した。昨日は第1回目の東印工組との懇談会を開く事ができた。当組合からは11名が参加し活発な情報交換をした。来年から年1回は懇談会をしていく事で閉会した。今後は回収現場でスムーズな取引が出来る事を期待している。来月は総会があり、忙しい月となるが本日もよろしくお祈いします。

[各部報告]

[総務部] 組合会館テナントの(株)ロータスが3月末で賃借契約を終了した。現状回復を含む修繕をこれから行う。尚、同時にテナントの募集も行っていく。

[直納部]

全般的な市況は、家庭紙は製品在庫が増えていて製品価格も弱含みで、原料は5ヶ月連続で値下げとなっている。洋紙メーカーの在庫は思ったほど在庫調整がうまくいっていない。組合のケントの共販輸出は先月よりさらに下がっているためスキップとした。

[品目別市況]

[家庭紙] 3月は悪いなりに発生はあったが、家庭紙メーカーの在庫が多く、なかなか使ってもらえない状況であった。洋紙メーカーからの注文が少なく、4月に入っても在庫がだぶつき海外にも活路を見つけ出せないのが現状である。

[新聞・雑誌・段ボール] 段ボールは製品の1月～3月の売れ行きが悪かった。メーカーの追加操短の影響もあり、原紙在庫が増えている。

新聞は、洋紙関係が操短で厳しい状況である。

2月に輸出が多かったのも、多少の在庫をはけたのではないかと。雑誌は長い時間をかけながら出ていくような状況になるのではないかと。思われる。

[台紙] 発生は減っている。価格面では3月に下げがあり内需が悪いので状況は良くない。

[返本雑誌] 発生は前年に比べ10%ほど落ちている。価格面では4月に下げがある予定。例年だと4月くらいから創刊誌が発行されるが今年あまりないので発生減に繋がるのではないかと。

[オフィス古紙] 発生期なのだが状況は良くない。2月は輸出が多かったが価格面では良くない状況である。

[集荷部]

印刷、製本は古紙の発生が悪かった。悪い上に、価格修正が続いている。問屋でも受け入れ拒否がでてきているようだ。全体的には、3月は発生が多かったが4月は良くないのではないかと。

[広報部]

広報誌3月号が手元に届いたと思う。5月号は総会号となり6月中旬に届ける予定である。記事は総会関係が中心でA4の横書版に変更になる。今後も「緊急報告」を必要な時に出していく方針である。

[事業部]

現在のPマークの代わりになるものを、コンサルティングオフィスに手を借りて組合独自でも作る方法がある。すでに製本工組、東印工組が行っていて、更新等が今までのものよりシンプルに出来る利点がある。今後、組合での取り組みに対して、検討する予定である。

[青年部]

4月10日に青年部会を開き総会と組合ゴルフコンペの手伝いについて討議する。

[近代化推進事業委員会]

経営革新委員会：古紙商品化適格事業所の更新について期限は1年延長となった。

東京都印刷工業組合との懇談会

[平成21年4月2日(木)]

於)日本印刷会館内会議室 pm 4:15

出席者：東印工組 8名 東京協組 11名

水上理事長の挨拶 (東印工組)

昨年の秋よりリーマンショックによる世界的な景気減退が起きています。今、従来にない状況におかれています。理事長になってからは、大きくは組合向けの連帯が必要と考えています。大きな意味での連帯は、印刷産業だけでなく周りの産業との連帯が大切であります。この会を意義のある会としていきたいと思っております。

近藤理事長の挨拶 (東京協組)

我々の組合は古紙と言っても印刷、製本等の産業古紙を扱っている集荷業者と直納業者から構成

されています。販売先は製紙メーカー、仕入先は多くの業界と関係させていただいています。今回は、このような会合が開けた事を嬉しく思っております。今後、回収先の現場でのスムーズな取引が出来るような情報交換の場として年1回でも会合を続けていけたらと願っております。

○高山総務部長より古紙データの資料をもとに、古紙の需給や必要性和価値観についての説明があった。

○赤染直納部長からは、現在の厳しい古紙業界の現況についての説明があった。

○松井副理事長と宮崎集荷部長からは、回収先などの集荷の状況についての説明があった。

○東印工組からは分別に関してや中国の今後の見通し等の質問を含む討議がなされた。

※今後、出来る限りお互いが無駄を省いて厳しい環境の中で、どうやったら合理的な回収方法ができるのかを話し合っていきたい。その為にも年に1度、定期的に話し合いの場をもうけて有意義情報交換をしたい。

古紙センター関東地区委員会

[平成21年4月22日(水)] pm2:00～

於)古紙センター会議室

[需要動向] 09/3月 単位トン、()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	77,568	(89.3%)
	出荷	73,259	(84.0%)
	在庫	19,329	(26.4%)
[雑誌]	仕入	69,901	(106.8%)
	出荷	65,452	(103.2%)
	在庫	16,774	(25.6%)

[段ボール] 仕入	134,119	(101.1%)
出荷	129,243	(98.9%)
在庫	33,286	(25.8%)

[関東・静岡実績]

[新聞] 入荷	216,933	(78.9%)
消費	227,968	(82.1%)
在庫	148,160	(65.0%)
[雑誌] 入荷	100,283	(77.9%)
消費	106,421	(81.4%)
在庫	73,983	(69.5%)
[段ボール] 入荷	232,651	(78.8%)
消費	241,954	(80.6%)
在庫	132,344	(54.7%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌] 新聞のページ数は昨年と比べ92%～96%と減っており減少傾向は止まっていない。チラシの発生も前年比93%と減少して推移している。雑誌の発行部数も昨年と比べ95%と減少しており、内、週刊誌が10%減少していて雑誌の増加要因はない。

[段ボール] 段ボールの今年の1月～3月の入荷は、昨年対比で96.3%と出荷は95.8%であった。4月に入っても中国からダンボール購入意欲はあるが価格は上がってこない。中国の購入意欲は非常に強い。3月の段ボール古紙の在庫が増加したのはメーカーの操短が原因であると思われる。

[メーカー側コメント]

段ボールは昨年は、ビールの値上げがあり生産は低かった。本来なら前年が悪い場合、今年は良くなるのだが4月に入っても段ボール生産量は伸びていない。3月は減産によりメーカーの原料の在庫調整があったが、4月に入り生産は上がったが発注量に結びついていない。

新聞は白板の生産に陰りが見え、4月に入っても発注をしぼりぎみである。

古紙センター業務委員会

[平成21年4月27日(月)] pm1:30～
於) 古紙センター会議室

- [1] 余剰古紙対策事業(センター備蓄)の清算について
- [2] 古紙回収推進事業の平成20年度実施結果と平成21年度事業計画について
- [3] 集団回収実施団体への感謝状交付(静岡地区委員会推薦)について
- [4] 平成21年度3R推進功労者等表彰の候補者推薦について
- [5] 古紙の需要・市況動向についてはページ数の都合により割愛させていただきます。

全原連 平成21年度 第1回役員会

[平成21年4月27日(月)] 15:00～
於) 古紙センター会議室

理事・監事60名:出席59名

(内、委任出席26名)欠席0名 欠員1名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(4月27日開催)

◎余剰古紙対策事業(センター備蓄)の精算に関する件。

- ・昨年12月末に緊急対策として関東地区余剰古紙対策事業(センター備蓄)を行い、4月末精算する。

◎古紙回収推進事業の平成20年度実施結果と平成21年度事業計画に関する件。

- ・日本製紙連合会会員有志(15社)からセンター

の広報宣伝事業の一環としての拠出金1億円に対して、平成20年度86,745,706円の実績。また、平成21年度各地区委員会提出実行計画(40,700,000円)。

◎集団回収実施団体への感謝状交付に関する件。

・推薦地区委員会：静岡地区委員会、推薦団体：芝川町内房小学校PTA(静岡県)

◎平成21年度3R推進功労者等表彰の候補者推薦に関する件。

・5月開催時に各地区委員会で推薦候補を提出すること。

◎その他

平成21年度第2回業務委員会：

平成21年5月27日(水)13:30 センター会議室

平成21年度第1回評議員会：

平成21年6月15日(月)11:00 銀座ラフィナート

第45回通常理事会：

平成21年6月15日(月)13:00 銀座ラフィナート

平成21年度第3回業務委員会：

平成21年6月15日(月)14:30 センター会議室

(2) 業界関係

◎全原連、日資連意見交換会(4月3日開催)に関する件。

・「古紙の現状問題点について」各業界より説明、意見交換を行った。

(3) 全原連 関係

◎総務財務委員会(4月16日開催)

・平成20年度決算関係及び平成21年度収支予算(案)について

◎監事による監査実施(4月21日開催)

・監事：高山昭二郎、福士淳治(兩人立会いのもと監査実施)

◎審議事項(役員会上程、承認事項)

①平成20年度決算関係書類について

・財産目録、貸借対照表、損益計算表剰余金処分案

②平成20年度監査報告書について

③平成20年度事業報告書について

④平成21年度収支予算について

⑤平成21年度賦課及び徴収方法について

⑥第32回通常総会上程議案の件について

⑦第32回通常総会式次第及び役割分担について(担当：静岡県製紙原料商業組合)

・司会：稲葉芳典、開会の辞：佐野一、出席状況報告：稲葉芳典

第1号議案 平成20年度事業報告承認の件：岩田政行

平成20年度決算関係書類承認の件：山室泰洋

監事の監査報告：福士淳治

第2号議案 平成21年度事業計画承認の件：

岩田政行

平成21年度収支予算承認の件：山室泰洋

第3号議案・第4号議案：議長

閉会の辞：矢倉義弘

⑧「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定に関する件。

・古紙商品化適格事業所：4月15日

(24社、31事業所)

累計(397社、797事業所)

・リサイクルアドバイザー：4月15日

・(48社、99名)

累計(409社、1,851名)

◎国内古紙需給安定システム検討委員会について

・需給委員会の中に設置する。

・委員：総合運営委員会、内山謙士郎(北海道地区)、佐藤清隆(東北地区)、小六信和(中・四国地区)、寺松哲雄(九州地区)

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会

- ・「古紙リサイクルアドバイザー」研修講習会開催(約840名受講)

今後の予定として四国商組、全原連新潟ブロックで開催。

- ・「古紙商品化適格事業所」更新(平成22年3月31日)支援事業
- ・安全部会は、従来の事業「安全作業月間」継続、及び「安全診断事業」、「火災防止事業」、「ペーラー事故防止事業」の推進。

●需給委員会

- ・国内古紙需給安定システム検討委員会で各地区の需給問題を把握し検討する。

●IT推進委員会

- ・相談室の充実及びホームページ見直し等継続事業推進。

●渉外広報委員会

- ・大阪府紙料協同組合HPリンク申請の件、ITリンク委員承認済み。

5 月度 定例理事会

[平成21年5月1日(金)]

出席理事 23名 於) 組合会議室 PM4:00

清水副理事長挨拶

近藤理事長の身内で不幸があり急遽、理事会を欠席する事になった。今回は、総会があり審議事項なども多くあるので本日はよろしくお願ひします。

[各部報告]

[総務部] 組合会館テナント2階の元(株)ロータスの部屋の改装が終わり、現在はテナントの募集中である。

[直納部]

6月25日の静岡県紙業協会家庭紙部会に向け6月11日に集直委員長会議、18日に直納部委員会を開催予定である。11日には共販輸出検討委員会も開催する。

全般的に市況は大変厳しく、関東商組の共販輸出では段ボールが若干の上げ、新聞、雑誌は若干の下げで一進一退となっている。白板が厳しいため新聞、雑誌が良くない状況である。3月の輸出は過去最高数量となった。国内メーカーの注文がない分、輸出に回った。6月～7月に若干、持ち直し見通しも出てきているが、印刷、出版関係では購入意欲が弱い。

[品目別市況]

[家庭紙] 全般的に予断を許さない状況である。発生が悪いにもかかわらず、在庫が多くある。投げ売りも出ているようである。洋紙、色上に若干の下げがあり家庭紙に何らかの影響がでてくるかもしれない。家庭紙は在庫を多く持っている。中小の家庭紙メーカーは値下げに反対している。又、製品在庫も持っている。家庭紙メーカーは品質に大変うるさくなってきている。

[段ボール] 発生は悪いが輸出が少し持ち直し多少の期待が出てきた。輸出は国内メーカーの受注がないので3月は過去最高の量となった。段ボール原紙は、アメリカ、イギリスの相場が上がってきており、動きが良くなってきた。

[新聞・雑誌] 新聞、雑誌は中国向けの輸出に関しても弱含みである。白板の製品が売れないため新聞、雑誌は弱い。国内の価格は動かないで推移するのではないかと。雑誌は在庫を多く持っている。発生は少ないが新聞、雑誌の在庫はある。

[台紙] 上台紙は使うところが決まっており、価格の変動もなく変わっていない。

[オフィス古紙] 発生は落ち着いている。在庫と

使用量は昨年並み。洋紙の影響が大きく製品価格も変わっていない。

[返本雑誌] 製本の発生が悪く、出版物も少ない。

[集荷部]

発生が非常に悪い。4月は特に悪く、製本関係は内容も悪い。6月23日(火)に集荷部会を予定している。

[広報部]

広報誌は5月総会号からA4の横書きになる。掲載内容は、総会の記事を中心とした人事の件、各支部の日程等。今年は役員改選があるので、2年に1回の総合名簿を作る予定である。

[事業部]

今月は総務部が中心の総会があるので協力をしていきたい。

[青年部]

組合ゴルフコンペの準備をしている。青年部総会に松井副理事長と宮崎崎集荷部長が参加する。又、今回は役員の改選があり部長が交代する予定である。

[近代化推進事業委員会]

経営革新委員会:古紙リサイクルアドバイザーの講習会を6月～7月に予定している。前回、受講されていない人が対象。

古紙センター関東地区委員会

[平成21年5月21日(木)] pm2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 09/4月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	80,530	(92.7%)
	出荷	78,977	(90.9%)
	在庫	20,882	(26.4%)
[雑誌]	仕入	71,519	(100.2%)
	出荷	71,367	(99.2%)
	在庫	16,926	(23.7%)
[段ボール]	仕入	134,916	(99.1%)
	出荷	141,379	(102.4%)
	在庫	26,823	(19.0%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	236,701	(84.7%)
	消費	228,744	(88.1%)
	在庫	156,117	(68.2%)
[雑誌]	入荷	118,236	(83.3%)
	消費	115,145	(83.5%)
	在庫	77,074	(66.9%)
[段ボール]	入荷	270,829	(85.1%)
	消費	288,502	(89.9%)
	在庫	114,671	(39.7%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌] 新聞は本文のページ数、重量ともに前月及び前年と比較して落ちている。チラシも依然として落ちている。

雑誌の広告費の減少でコストが合わない。週刊誌が売れない。書籍の返品率が増えている。

[段ボール] 段ボールは関東商組32社報告で入荷が99.1%、出荷が102.4%。3月は輸出が多く

出ており輸出のしめる割合が多くなってきている。全国の半分が関東から輸出されている。

[メーカー側コメント]

新聞は入荷が良かった。発生量が少なくなり輸出量が増えてきた。輸出は、ここ5年で一番高い数字となっている。5月の段ボール生産は今ひとつであった。基本的には経済の状況は良くなっていない。4月は3月に比べ生産は増えている。

5月の発注量は横ばい。連休明けから発生が減っている。輸出の価格が少し上がっているようである。

業務委員会

[平成21年5月27日(水)] pm1:30～

於) 古紙センター会議室

- [1] 各委員会の改選について
- [2] 集団回収実施団体への感謝状交付について
- [3] 平成20年度関東地区古紙品質調査事業の調査結果について
- [4] 新型インフルエンザ対策について
- [5] 古紙の需要・市況動向についてはページ数の都合で割愛させていただきます。

編集後記

広報部副部長 脇 克美

今回お読みになって気付かれたと思いますが、この「広報」を年度替りを機会にA4版ヨコ書きへと変更いたしました。私の記憶の限りずっとタテ書きでしたから暫らくは違和感をお感じになるかもしれませんが、どうぞ感想をお聞かせ下さい。総会も無事終了し、近藤理事長も2期目の体制を整えて、正に荒波の大海原へと船出しました。私も執行部の一員として微力ながらもお役に立ちたいと思っています。

さて、あと幾日かで今年も半分が過ぎようとしています。この半年だけでもう一年分の十大ニュースが決定できるくらいの出来事が在りました。中でも最近目をひくのが「新型インフルエンザ」関連のニュースです。当初は海外の出来事だと思っていましたが、連休を境に国内にも感染者が確認され、ネズミ算の様に増え続け、予断のない事態となっています。私が一ツ気になるのは、原因ははっきりしないものの、お年寄りには何らかの免疫があり感染しづらいのではという記事です。

四捨五入すれば「アラ還」になろうという私ははたしてお年寄りなののでしょうか？確かに最近とみに人の名前や言葉、語彙がとっさに出てこなかったり、夜がめっきり弱くなって早くに就寝して朝4時には起きだしています。そんなことを考えだすともう「新型インフルエンザ」の事はさておいて、私はお年寄りといわれる立場になっているのかという自問の方が重要な案件となってしまいました。